

！ご注意ください！ 2025年4月以降の変更点は2つです(下部参照)

- ・ <比較指標>の変更
- ・ エビデンス資料(当該モデル・一代前モデルの①指標数値②販売開始年)の要提出

水色のセルに入力すると左側の印刷用書式に自動で反映されます

入力にあたっての注意事項です

【チェックリスト】		【様式2】		製造業者名	株式会社電子回路	※別称等、略称不可
製造業者名	株式会社電子回路(製造元:株式会社工業)	※製造業者名、設備の名称、設備型式は【証明書(Word)】と同じ表記とすること		製造元(販売商社や輸入代理店が証明する場合)	株式会社工業	※製造と販売が同じ場合は記載不要
設備の名称	プリント配線板用自動外観検査機	設備の名称			プリント配線板用自動外観検査機	
設備型式	△△△-2020				△△△-2020	
何をするための設備か(簡潔に説明)	プリント配線板のパターン形状の				1. 電子回路製造業用設備	※プルダウンリストより選択
納入数量	2	ユーザ資本金	10,000		プリント配線板のパターン形状の欠陥を画像で検査する装置	
				ユーザ資本金	2	※数字のみ記入
					10000	千円

証明書(Word)と表記が同じであることを確認してください

↓水色のセルに入力ください(※左のラベル参照)

設備メーカー(製造事業者)記入欄	
販売開始年	1. 該当
当該設備の販売開始日が、取得日から一定期間に属する年度開始の日以後であること。	① 販売開始年(西暦で記載): 2020 年(※1)
	② (設備)の取得等をする年月: 2023 年 12 月
	②-①= 3 年が一定期間(※2)の要件内
	1. 該当
<比較の要不要>	
1. 自社内で類似する機能・性能を持つ製品の抽出が可能	
* (2. を選択の場合) (注)に基づきその理由を具体的に説明して下さい	

当該設備の販売開始年	2020	※西暦、数字のみ記入
当該設備の取得等をする年	2023	※西暦、数字のみ記入
当該設備の取得等をする月	12	※数字のみ記入

★比較の要不要	1. 自社内で類似する機能・性能を持つ製品の抽出が可能
★比較の要不要で「2. 比較すべき製品が存在しない新製品である」を選択した場合	
比較の要不要で「2. を選択した理由を具体的に説明	

比較の要不要で 2. を選択する場合は 中小企業庁 QA 集 7/14 ページ A-4 <https://www.chusho.meti.go.jp/kyokai/kyoka/pdf/kyokaqanda.pdf> をご確認ください

当該モデル及び一代前モデルの ①指標数値の根拠となる資料 (カタログ、仕様書、検査結果の抜粋等) ②販売開始年を裏付ける資料 (リリース情報(URL/メール/チラシ)、内部資料の抜粋等) を必ずご提示ください

★比較の要不要	1. 自社内で類似する機能・性能を持つ製品の抽出が可能	
比較指標の項目	1. 単位時間あたり生産量	
比較指標の具体的な説明	検査速度向上	
一代前モデルの型式	△△△-2012	
一代前モデルの販売開始年	2012	※数字のみ記入
一代前モデルの指標数値	30	※数字のみ記入
当該モデルの指標数値	40	※数字のみ記入
指標数値の単位	枚/h	※単位のみ記入

入力内容に問題がなければ 3か所に「1.該当」が表示されます 表示されない場合は ・入力漏れ ・数値の誤り ・誤った箇所への入力がないか、今一度ご確認ください

(販売開始年)	2012 年、(型式)	△△△-2012
○ 当該モデル:	40 枚/h	
<生産性向上>		
年平均:	4.2	
計算式:	$(40 - 30) \div 30 \div (2020 - 2012) \times 100$	
該当要件への当非	1. 該当	

■ <比較指標>が変更となり、3つに統一されました。下記3つから選択、計算のうえ、ご記入ください。

1. 単位時間あたり生産量(時間あたり掘削量(m³/h)、時間あたり生成量(個/h)等)
 2. 歩留まり率(完成品数/投入原料数、良品数/完成品数等)
 3. 投入コスト削減率(必要作業時間の短縮率、必要投入原料の削減率等)
- ※投入コストは当該設備の製作に係る費用(金銭)という意味ではなく、それ以外の時間や原料の量など、当該設備を利用して物等を生成するために必要となる要素を意味しています。

■ エビデンス資料を必ず提出ください(2025年4月1日以降、新指標にて証明書を発行したものは不要)。

以下の資料が、当該モデル・一代前モデル、ともに必要です。 ①当該・一代前モデルの指標数値が明記された資料、②当該・一代前モデルの販売開始年を裏付ける資料